

「使用上の注意」

①本資料は、令和２年時点の災害の教訓等の最新の知見に基づいて作成しています。今後、法改正等に伴い必要に応じて内容を修正していきます。

②様式集には、「コントロールシート」、「表紙、目次、P.1～P.1.1」、「避難だっちゃん新聞」の頁があります。コントロールシートは各施設における避難確保計画の必要記載事項を記入するワークシートです。

コントロールシートに必要記載事項を記入すると、記載事項が「表紙、目次、P.1～P.1.1」に反映され、各施設の避難確保計画となります。

③入力にあたっては、別添「要配慮者利用施設施設に係る洪水・土砂災害時等の避難確保計画作成の手引き（案）」を参照しながら、コントロールシートの「作成者入力欄」に、各施設の状況を確認し、必要記載事項を入力してください。

④印刷時はエクセルの「表紙、目次、P.1～P.1.1」、「避難だっちゃん新聞」頁を対象に、施設が該当する頁に対して印刷を行ってください。

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁																								
●施設に想定される災害リスクを☑チェックしてください。 ☒ 洪水 ☐ 土砂災害 ●あなたの施設が位置する市町を選んでください。 美里町 ※プルダウンで所在自治体を選んでください。																										
表紙																										
表紙	施設名： 2021 年 月 作成	P.2																								
1 計画の目的 2 計画の報告 3 計画の適用範囲																										
P.1	●施設状況 <table><tr><td>昼間 利用者</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr><tr><td>昼間 施設職員</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr><tr><td>夜間 利用者</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr><tr><td>夜間 施設職員</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr><tr><td>休日 利用者</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr><tr><td>休日 施設職員</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr></table> ※休日に利用者が大きく変化する場合は記入してください。 ※休日に利用者が大きく変化する場合は記入してください。 (2021 年 月 日付)	昼間 利用者	約		名	昼間 施設職員	約		名	夜間 利用者	約		名	夜間 施設職員	約		名	休日 利用者	約		名	休日 施設職員	約		名	P.4
昼間 利用者	約		名																							
昼間 施設職員	約		名																							
夜間 利用者	約		名																							
夜間 施設職員	約		名																							
休日 利用者	約		名																							
休日 施設職員	約		名																							

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁																								
●施設に想定される災害リスクを☑チェックしてください。 ☒ 洪水 ☒ 土砂災害 ●あなたの施設が位置する市町を選んでください。 美里町 ※プルダウンで所在自治体を選んでください。																										
4.1 防災体制																										
表紙	施設名： グループホーム〇〇〇 2021 年 1 月 作成	P.2																								
1 計画の目的 2 計画の報告 3 計画の適用範囲																										
P.1	●施設状況 <table><tr><td>昼間 利用者</td><td>約</td><td> 18 </td><td>名</td></tr><tr><td>昼間 施設職員</td><td>約</td><td> 6 </td><td>名</td></tr><tr><td>夜間 利用者</td><td>約</td><td> 18 </td><td>名</td></tr><tr><td>夜間 施設職員</td><td>約</td><td> 2 </td><td>名</td></tr><tr><td>休日 利用者</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr><tr><td>休日 施設職員</td><td>約</td><td> </td><td>名</td></tr></table> ※休日に利用者が大きく変化する場合は記入してください。 ※休日に利用者が大きく変化する場合は記入してください。 (2021 年 1 月 日付)	昼間 利用者	約	18	名	昼間 施設職員	約	6	名	夜間 利用者	約	18	名	夜間 施設職員	約	2	名	休日 利用者	約		名	休日 施設職員	約		名	P.4
昼間 利用者	約	18	名																							
昼間 施設職員	約	6	名																							
夜間 利用者	約	18	名																							
夜間 施設職員	約	2	名																							
休日 利用者	約		名																							
休日 施設職員	約		名																							

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁
4.1 防災体制		
P.2	●防災体制一覧表 消防計画等を既に作成済みの場合、そちらと同様の記載で構いません。 自衛消防隊長（ ）（代行者 ） ●通報班 ※極力、自衛消防隊長とは別の方にしてください。 班長（ ） 班員（ 0 名） ※以下に氏名を入れると自動的に人数が表示されます。 注意体制における任務（警戒レベル2相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☐ 気象情報などの情報収集 ☐ その他（ 警戒体制における任務（警戒レベル3相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、情報内容の記録 ☐ 館内放送等による避難の呼び掛け ☒ 洪水予報等の情報の収集 ☒ 関係者及び関係機関との連絡、事前協力の依頼 ☐ その他（	P.5

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁
4.1 防災体制		
P.2	●防災体制一覧表 自衛消防隊長（ 北上川 A男 ）（代行者 北上川 B子 ） ●通報班 ※極力、自衛消防隊長とは別の方にしてください。 班長（ 北上川 C男 ） 班員（ 5 名） ※以下に氏名を入れると自動的に人数が表示されます。 北上川 D男 北上川 E子 北上川 F子 北上川 G男 北上川 H子 注意体制における任務（警戒レベル2相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 気象情報などの情報収集 ☒ その他（ 避難に際し、特に配慮が必要な利用者の状況確認 避難先への協力要請 警戒体制における任務（警戒レベル3相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、情報内容の記録 ☐ 館内放送等による避難の呼び掛け ☒ 洪水予報等の情報の収集 ☒ 関係者及び関係機関との連絡、事前協力の依頼 ☒ その他（ 外来診療中止の掲示 利用者家族への情報提供	P.5

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁
P . 2	●避難誘導班 ※極力、自衛消防隊長、通報班長とは別の方にしてください。 班長 () 班員 (0 名) ※以下に氏名を入れると自動的に人数が表示されます。 警戒体制における任務（警戒レベル3相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 避難に関する資機材の準備 ☒ 要配慮者の避難誘導 ☐ その他 () () () () () 非常体制における任務（警戒レベル4相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 避難誘導の実施 ☒ 未避難者、要救助者の確認 ☒ 屋内安全確保（垂直避難）の判断 ☒ 周辺の状況確認 ☐ その他 () () () () ()	P . 5

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁
P . 2	●避難誘導班 ※極力、自衛消防隊長、通報班長とは別の方にしてください。 班長 (北上川 I子) 班員 (7 名) ※以下に氏名を入れると自動的に人数が表示されます。 警戒体制における任務（警戒レベル3相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 避難に関する資機材の準備 ☒ 要配慮者の避難誘導 ☒ その他 (施設利用者の体調・状態の把握) (避難経路の再確認) () () 非常体制における任務（警戒レベル4相当） ※施設が実施する任務にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、（）内に内容を記載してください。 ☒ 避難誘導の実施 ☒ 未避難者、要救助者の確認 ☒ 屋内安全確保（垂直避難）の判断 ☒ 周辺の状況確認 ☒ その他 (連携機関・家族への応援依頼) (安全確保のための誘導用ライフジャケットを着用し、避難ルートや側溝等の危険箇所を指示) (避難する際には、プレーカーの遮断、ガスの元栓の閉鎖) (浸水の恐れのある階または施設からの退出が概ね完了した時点において、未避難者の有無について確認)	P . 5

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁
4.2 防災体制確立の判断時期及び活動内容（洪水）		
P.3-1 P.3-2	●防災体制確立の判断基準となる河川や観測所地図で確認し、上流の観測所を選ぶことをお勧めします。上流の観測所より近くに観測所がある場合は、上流の観測所と近くの観測所の2箇所を記載してください。 河川名 所在市町（ ） 水位情報（ ）観測所 ※ブルダウンで対象の河川・観測所を選んでください。	P.13
4.2 防災体制確立の判断時期及び活動内容（洪水）		
P.3-3 P.3-4	●対象とする河川や観測所が2つある場合は入力してください。 河川名 所在市町（ ） 水位情報（ ）観測所	P.13
4.3 防災体制確立の判断時期及び活動内容（土砂災害）		
P.4	●土砂災害に対する防災体制確立の判断基準 所在市町（ ）	P.13
5 情報収集・伝達		
P.5	●洪水・土砂災害時の避難に関する情報とその収集方法 ●洪水予報・河川水位 ・収集方法（ 国土交通省ホームページ、川の防災情報、洪水警報の危険度分布、緊急速報メール、エリアメール、メール配信サービス、防災無線、ラジオ、コミュニティFM ） ☐ その他 収集方法 ・インターネット検索キーワード（ "川の防災情報 宮城県 水位"、"宮城県 河川流域情報システム"、"気象庁 洪水警報の危険度分布" 等 ） その他 ☒ インターネット検索キーワード "川の防災情報 宮城県 水位"、"宮城県 河川流域情報システム" ●気象情報 ・収集方法（ 気象庁ホームページ、テレビ、ラジオ ） ☐ その他 収集方法 ・インターネット検索キーワード（ "宮城県 警報"、"美里町 警報"、"NHK 警報 宮城"、"宮城県 土砂災害警戒情報" 等 ） その他 ☒ インターネット検索キーワード "宮城県 警報"、"美里町 警報"、"NHK警報 宮城"、"宮城県 土砂災害"	P.14

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁
4.2 防災体制確立の判断時期及び活動内容（洪水）		
P.3-1 P.4-1	●防災体制確立の判断基準となる河川や観測所地図で確認し、上流の観測所を選ぶことをお勧めします。上流の観測所より近くに観測所がある場合は、上流の観測所と近くの観測所の2箇所を記載してください。 河川名 江合川 所在市町（ 美里町 ） 水位情報（ 下谷地 ）観測所 ※ブルダウンで対象の河川・観測所を選んでください。	P.13
4.2 防災体制確立の判断時期及び活動内容（洪水）		
P.3-2 P.4-2	●対象とする河川や観測所が2つある場合は入力してください。 河川名 出来川 所在市町（ 美里町 ） 水位情報（ 笹館橋 ）観測所	P.13
4.3 防災体制確立の判断時期及び活動内容（土砂災害）		
P.4	●土砂災害に対する防災体制確立の判断基準 所在市町（ 美里町 ）	P.13
5 情報収集・伝達		
P.5	●情報収集の方法 ●洪水予報・河川水位 ・収集方法（ 国土交通省ホームページ、川の防災情報、洪水警報の危険度分布、緊急速報メール、エリアメール、メール配信サービス、防災無線、ラジオ、コミュニティFM ） ☐ その他 収集方法 ・インターネット検索キーワード（ "川の防災情報 宮城県 水位"、"宮城県 河川流域情報システム"、"気象庁 洪水警報の危険度分布" 等 ） その他 ☒ インターネット検索キーワード "川の防災情報 宮城県 水位"、"宮城県 河川流域情報システム" ●気象情報 ・収集方法（ 気象庁ホームページ、テレビ、ラジオ ） ☐ その他 収集方法 ・インターネット検索キーワード（ "宮城県 警報"、"美里町 警報"、"NHK 警報 宮城"、"宮城県 土砂災害警戒情報" 等 ） その他 ☒ インターネット検索キーワード "宮城県 警報"、"美里町 警報"、"NHK警報 宮城"、"宮城県 土砂災害"	P.14

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁
	●避難準備・高齢者等、避難開始等 ・収集方法（ テレビ、ラジオ、防災行政無線、市町ホームページ ） ☐ その他 収集方法 ・インターネット検索キーワード（ " 宮城県 避難"、 " 美里町 避難" ） その他 ☒ インターネット検索キーワード "宮城県 避難"、 "美里町 避難"、 "美里町 警戒レベル" ・ 情報伝達 （「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。） （ 徒歩や公共交通機関等を用いての広域避難が困難な者がいる場合には、避難困難者の状態や人数について市町村長に報告する。） ☐ その他 情報伝達について	P.14

6.1 施設周辺の避難経路図（洪水）

P.6-1	●屋内安全確保（垂直避難）の可否について 施設の階数 階 ※避難時間とは施設を出発してから避難場所に到着するまでの時間です。 施設に想定される最大浸水深 m ※施設の建物の高さについては、5階建てまでを想定し、本計画を作成しています。 浸水深 5m ～ 10m 3m ～ 5m 0.5m ～ 3m ～ 0.5m 建物の浸水イメージ ※建物の階数より浸水深が深い場合は、屋内安全確保（垂直避難）は危険です。 垂直避難は、大きい川の近く施設の場合、家が流される可能性があるため、注意してください。 浸水深と避難行動の関係は以下のサイトが参考になります。 http://www.river.go.jp/kawabou/reference/index05.html 貴施設が屋内安全確保（垂直避難）をすることは 屋内安全確保（垂直避難） 名称 0 ） ※該当する場合は、原則貴施設名称が入ります。 屋内安全確保（垂直避難）の準備時間 （ ）分 屋内安全確保（垂直避難）にかかる時間 （ ）分	P.17
-------	---	------

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁
	●避難準備・高齢者等、避難開始等 ・収集方法（ テレビ、ラジオ、防災行政無線、市町ホームページ ） ☐ その他 収集方法 ・インターネット検索キーワード（ " 宮城県 避難"、 " 美里町 避難" ） その他 ☒ インターネット検索キーワード "宮城県 避難"、 "美里町 避難"、 "美里町 警戒レベル" ・ 情報伝達 （「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。） （ 徒歩や公共交通機関等を用いての広域避難が困難な者がいる場合には、避難困難者の状態や人数について市町村長に報告する。） ☒ その他 情報伝達について 利用者の家族に対して、「ご家族連絡先」に基づき、避難所へ避難する旨、避難が完了した旨を連絡する。 関連施設に対して、「●●連絡先」に基づき、避難所へ避難する旨、避難が完了した旨を連絡する。	P.14

6.1 施設周辺の避難経路図（洪水）

P.6-1	●屋内安全確保（垂直避難）の可否について 施設の階数 2 階 ※避難時間とは施設を出発してから避難場所に到着するまでの時間です。 施設に想定される最大浸水深 3.0 m ※施設の建物の高さについては、5階建てまでを想定し、本計画を作成しています。 浸水深 5m ～ 10m 3m ～ 5m 0.5m ～ 3m ～ 0.5m 建物の浸水イメージ ※建物の階数より浸水深が深い場合は、屋内安全確保（垂直避難）は危険です。 垂直避難は、大きい川の近く施設の場合、家が流される可能性があるため、注意してください。 浸水深と避難行動の関係は以下のサイトが参考になります。 http://www.river.go.jp/kawabou/reference/index05.html 貴施設が屋内安全確保（垂直避難）をすることは 避けてください 屋内安全確保（垂直避難） 名称（ グループホーム〇〇〇 ） ※該当する場合は、原則貴施設名称が入ります。 屋内安全確保（垂直避難）の準備時間 （ 10 ）分 屋内安全確保（垂直避難）にかかる時間 （ 20 ）分	P.17
-------	--	------

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁
	●施設から避難場所までの経路を示す避難経路図を作成し、P. 6 - 1 に添付してください。 ハザードマップで施設の位置を確認してください。画像はプリントスクリーンでも大丈夫です。ハザードマップの上に施設の位置、経路、避難所を記載してください。詳しくは、手引き（案）P.17を参照してください。 ●避難路や避難時間について 避難場所（施設からの移動距離） ※直線距離とは異なります。 名称 （ m） 移動手段 ☐ 徒歩 ※施設が該当する手段にチェックを入れてください。 ☐ 車両（ ）台 避難準備時間（ ）分 ※避難準備時間とは、利用者を自室等から施設外等に移動させ、すぐに避難できる状態になるまでです。訓練等で検証して、入力してください。 避難時間（ ）分	
6.2 施設周辺の避難経路図（土砂災害）		
P. 6 - 2	●施設から避難場所までの経路を示す避難経路図を作成し、P. 6 - 2 に添付してください。 ハザードマップで施設の位置を確認してください。画像はプリントスクリーンでも大丈夫です。ハザードマップの上に施設の位置、経路、避難所を記載してください。詳しくは、手引き（案）P.21を参照してください。 ●避難路や避難時間について 避難場所（施設からの移動距離） ※直線距離とは異なります。 名称 （ m） 移動手段 ☐ 徒歩 ※施設が該当する手段にチェックを入れてください。 ☐ 車両（ ）台 避難準備時間（ ）分 ※避難準備時間とは、利用者を自室等から施設外等に移動させ、すぐに避難できる状態になるまでです。訓練等で検証して、入力してください。 避難時間（ ）分 建物の階数 階 ※避難時間とは施設を出発してから避難場所に到着するまでの時間です。 ※施設の建物の高さについては、5階建てまでを想定し、本計画を作成しています。 屋内安全確保（垂直避難） 名称（ ） ※該当する場合は、原則貴施設名称が入ります。 屋内安全確保（垂直避難）の準備時間（ ）分 屋内安全確保（垂直避難）にかかる時間（ ）分 雨風が強まり屋外へ出ることが危険な場合に 屋内避難する際の留意点 避難のポイント ・自宅の2階以上の部分 ・がけや沢筋から離れた部屋 ・近くの堅牢な建物の2階以上	P. 1 7
6.3 避難誘導方法		
P. 7 - 2	【避難場所へ避難する場合】 避難準備時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 分 ※P.6-1で入力した避難準備時間と避難時間が自動的に入ります。 目標時間 分 避難時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 分 目標時間 分	P. 2 3
P. 7 - 2	【屋内安全確保（垂直避難）する場合】 避難準備時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 分 ※P.6-1で入力した避難準備時間と避難時間が自動的に入ります。 目標時間 分 避難時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 分 目標時間 分	P. 2 3

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁
	●施設から避難所までの経路を示す避難経路図を作成し、P. 6 に添付してください。 ハザードマップで施設の位置を確認してください。画像はプリントスクリーンでも大丈夫です。ハザードマップの上に施設の位置、経路、避難所を記載してください。詳しくは、手引き（案）P.17を参照してください。 ●避難路や避難時間について 避難場所（施設からの移動距離） ※直線距離とは異なります。 名称 ○○中学校 （ 2,700 m） 移動手段 ☐ 徒歩 ※施設が該当する手段にチェックを入れてください。 ☒ 車両（ 2 ）台 避難準備時間（ 30 ）分 ※避難準備時間とは、利用者を自室等から施設外等に移動させ、すぐに避難できる状態になるまでです。訓練等で検証して、入力してください。 避難時間（ 20 ）分	
6.2 施設周辺の避難経路図（土砂災害）		
P. 6 - 2	●施設から避難所までの経路を示す避難経路図を作成し、P. 6 - 2 に添付してください。 ハザードマップで施設の位置を確認してください。画像はプリントスクリーンでも大丈夫です。ハザードマップの上に施設の位置、経路、避難所を記載してください。詳しくは、手引き（案）P.21を参照してください。 ●避難路や避難時間について 避難場所（施設からの移動距離） ※直線距離とは異なります。 名称 ○○中学校 （ 2,700 m） 移動手段 ☐ 徒歩 ※施設が該当する手段にチェックを入れてください。 ☒ 車両（ 2 ）台 避難準備時間（ 10 ）分 ※避難準備時間とは、利用者を自室等から施設外等に移動させ、すぐに避難できる状態になるまでです。訓練等で検証して、入力してください。 避難時間（ 8 ）分 建物の階数 2 階 ※避難時間とは施設を出発してから避難場所に到着するまでの時間です。 ※施設の建物の高さについては、5階建てまでを想定し、本計画を作成しています。 屋内安全確保（垂直避難） 名称（ グループホーム○○○ ） ※該当する場合は、原則貴施設名称が入ります。 屋内安全確保（垂直避難）の準備時間（ 10 ）分 屋内安全確保（垂直避難）にかかる時間（ 5 ）分 雨風が強まり屋外へ出ることが危険な場合に 屋内避難する際の留意点 避難のポイント ・自宅の2階以上の部分 ・がけや沢筋から離れた部屋 ・近くの堅牢な建物の2階以上	P. 1 7
6.3 避難誘導方法		
P. 7 - 2	【避難場所へ避難する場合】 避難準備時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 30 分 ※P.6-1で入力した避難準備時間と避難時間が自動的に入ります。 目標時間 25 分 避難時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 20 分 目標時間 20 分	P. 2 3
P. 7 - 2	【屋内安全確保（垂直避難）する場合】 避難準備時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 10 分 ※P.6-1で入力した避難準備時間と避難時間が自動的に入ります。 目標時間 25 分 避難時間（避難訓練の実績値もしくは想定値） 20 分 目標時間 20 分	P. 2 3

様式集	作成者入力欄 ※各施設にて、ご確認の上、ご記入ください。	手引き 参照頁
7 避難の確保を図るための施設の整備		
P.8	(避難確保資器材一覧) ●備蓄品 ※施設が保有する資機材にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、ボックス内に内容を記載してください。 利用者の数に対して、適切な数量が備蓄できている場合はチェックを入れてください。 情報収集・伝達のための備蓄 ☐ テレビ ☐ ラジオ ☐ タブレット ☐ ファックス ☐ 携帯電話 ☐ 懐中電灯 ☐ 電池 ☐ 携帯電話用バッテリー ☐ 笛 避難誘導のための備蓄 ☐ 名簿（従業員、施設利用者） ☐ 案内旗 ☐ タブレット ☐ 携帯電話 ☐ 懐中電灯 ☐ 携帯用拡声器 ☐ 電池式照明器具 ☐ 携帯電話用バッテリー ☐ ライフジャケット ☐ 蛍光塗料 施設内の一時避難のための備蓄 ☐ 水（1人あたりℓ） ☐ 食料（推奨：1人あたり3日分） ☐ 寝具 ☐ 防寒具 高齢者のための備蓄 ☐ おむつ・おしりふき 障害者のための備蓄 ☐ 常備薬 乳幼児のための備蓄 ☐ おむつ・おしりふき ☐ おやつ ☐ おんぶひも 感染症対策のための備蓄 ☐ マスク（タオル等） ☐ 体温計 ☐ アルコール消毒液（除菌シート） ☐ 石鹸 ☐ 上履き（スリッパ） ☐ ビニール袋 ☐ ティッシュペーパー 非常・防災用のための備蓄 ☐ 着替え ☐ アルミマット等 ☐ 薬・お薬手帳 ☐ 非常用持出袋 その他の備蓄品 ☐ ウェットティッシュ ☐ ゴミ袋 ☐ タオル ☐ その他 ●浸水を防ぐための対策のための備蓄 ☐ 土のう ☐ 止水板 ☐ その他	P.26
9 自衛水防組織の業務に関する事項		
P.9	●防災教育及び訓練の実施 ・毎年 月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。 ※できれば梅雨前の時期がおすすめです。 ●自営水防組織の業務に関する事項 ・毎年 月に新たに自衛水防組織の構成員となった職員を対象として研修を実施する。 ・毎年 月に行う全職員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。	P.28

様式集	作成者入力欄 記載例	手引き 参照頁
7 避難の確保を図るための施設の整備		
P.8	(避難確保資器材一覧) ●備蓄品 ※施設が保有する資機材にチェックを入れてください。追記をされる場合は、"その他"にチェックを入れ、ボックス内に内容を記載してください。 利用者の数に対して、適切な数量が備蓄できている場合はチェックを入れてください。 情報収集・伝達のための備蓄 ☒ テレビ ☒ ラジオ ☐ タブレット ☒ ファックス ☒ 携帯電話 ☒ 懐中電灯 ☒ 電池 ☒ 携帯電話用バッテリー ☒ 笛 避難誘導のための備蓄 ☒ 名簿（従業員、施設利用者） ☐ 案内旗 ☐ タブレット ☒ 携帯電話 ☒ 懐中電灯 ☐ 携帯用拡声器 ☐ 電池式照明器具 ☐ 携帯電話用バッテリー ☐ ライフジャケット ☐ 蛍光塗料 施設内の一時避難のための備蓄 ☒ 水（1人あたりℓ） ☒ 食料（推奨：1人あたり3日分） ☒ 寝具 ☐ 防寒具 高齢者のための備蓄 ☒ おむつ・おしりふき 障害者のための備蓄 ☒ 常備薬 乳幼児のための備蓄 ☒ おむつ・おしりふき ☐ おやつ ☐ おんぶひも 感染症対策のための備蓄 ☒ マスク（タオル等） ☒ 体温計 ☒ アルコール消毒液（除菌シート） ☒ 石鹸 ☒ 上履き（スリッパ） ☒ ビニール袋 ☒ ティッシュペーパー 非常・防災用のための備蓄 ☒ 着替え ☒ アルミマット等 ☒ 薬・お薬手帳 ☒ 非常用持出袋 その他の備蓄品 ☐ ウェットティッシュ ☐ ゴミ袋 ☐ タオル ☒ その他 生理用品 ●浸水を防ぐための対策のための備蓄 ☒ 土のう ☐ 止水板 ☐ その他	P.26
9 自衛水防組織の業務に関する事項		
P.9	●防災教育及び訓練の実施 ・毎年 4 月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。 ※できれば梅雨前の時期がおすすめです。 ●自営水防組織の業務に関する事項 ・毎年 4 月に新たに自衛水防組織の構成員となった職員を対象として研修を実施する。 ・毎年 4 月に行う全職員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。	P.28

洪水・土砂災害時の避難確保計画

【施設名： 】

2021 年 月 作成

—目次—

1. 計画の目的	1
2. 計画の報告	1
3. 計画の適用範囲	1
4. 防災体制	2
5. 情報収集及び伝達	5
6. 避難誘導	6
7. 避難の確保を図るための施設の整備	8
8. 防災教育及び訓練の実施	9
9. 自衛水防組織の業務に関する事項(自衛水防組織を設置する場合に限る。)	9

1 計画の目的

この計画は、水防法第15条の3第1項に基づくものであり、本施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2 計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

3 計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

この計画は、河川氾濫による洪水が発生する恐れがあるときに適用するものとするものであり、高潮や土砂災害などその他災害は対象外とする。

【施設の状況】

人数			
昼間・夜間		休日	
利用者	施設職員	利用者	施設職員
昼間	昼間	休日	休日
約 名	約 名		
夜間	夜間	約 名	約 名
約 名	約 名		

(2021 年 月 付)

4 防災体制

4.1. 防災体制

防災体制一覧表

自衛消防隊長() (代行者)

通報班	役職及び氏名	注意体制における任務 (警戒レベル2相当)	警戒体制における任務 (警戒レベル3相当)
	班長 () 班員 (0) 名	☐ 気象情報などの情報収集 ☐ その他	☒ 自衛水防活動の指揮 統制、 状況の把握、情報内容の記録 ☐ 館内放送等による避難の呼び 掛け ☒ 洪水予報等の情報の収集 ☒ 関係者及び関係機関との連 絡、事前協力の依頼 ☐ その他

避難 誘導 班	役職及び氏名	警戒体制における任務 (警戒レベル3相当)	非常体制における任務 (警戒レベル4相当)
	班長 () 班員 (0) 名	☒ 避難に関する資機材の準備 ☒ 要配慮者の避難誘導 ☐ その他	☒ 避難誘導の実施 ☒ 未避難者、要救助者の確認 ☒ 屋内安全確保(垂直避難)の 判断 ☒ 周辺の状況確認 ☐ その他

4.2. 防災体制確立の判断時期及び活動内容（洪水）

河川名	(-)
所在市町村	(-)
水位情報	(-) 水位観測所

<氾濫水到達時間が長い場合>

洪水危険度	体制確立の判断時期		体制	活動内容	対応要員
	洪水予報・水位到達情報	避難情報			
↑ 低	・【警戒レベル2相当】大雨・洪水注意報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫注意情報発表等 (-)(-)水位観測所の水位が氾濫注意水位（避難行動の準備を行う目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合		注意体制	台風や前線による大雨に伴う、洪水予報等の情報収集	通報班
	・【警戒レベル3相当】大雨・洪水警報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫警戒情報発表等 [洪水予報] (-)(-)水位観測所の水位が一定時間後に氾濫危険水位（堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位としてあらかじめ定められた水位）に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位（避難行動を行う目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合 [水位到達情報] (-)(-)水位観測所の水位が特別警戒水位（避難判断水位）に到達した場合	避難準備・高齢者等避難開始の発令	警戒体制	①洪水予報等の情報収集 ②使用する資器材の準備 ③利用者家族への事前連絡 ④周辺住民への事前協力依頼 ⑤要配慮者の避難誘導	①、③、④ 通報班 ②、⑤ 避難誘導班
	・【警戒レベル4相当】 ・(-)(- 地点) 氾濫危険情報発表 (-)の水位が氾濫危険水位（堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位としてあらかじめ定められた水位）に到達	避難指示の発令	非常体制	避難誘導	避難誘導班
	↓ 高 ・【警戒レベル5相当】大雨特別警報発表				

＜氾濫水到達時間が短い場合＞

洪水危険度	体制確立の判断時期		体制	活動内容	対応要員
	洪水予報・水位到達情報	避難情報			
低 ↑ ↓ 高	大雨又は台風に関する気象情報発表等		注意体制	気象情報等の情報収集	通報班
	・【警戒レベル2相当】大雨・洪水注意報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫注意情報発表等 (-)(-)水位観測所の水位が氾濫注意水位（避難行動の準備を行う目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合		警戒体制	①洪水予報等の情報収集 ②使用する資器材の準備 ③利用者家族への事前連絡 ④周辺住民への事前協力依頼 ⑤要配慮者の避難誘導	①、③、④ 通報班 ②、⑤ 避難誘導班
	・【警戒レベル3相当】大雨・洪水警報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫危険情報発表等 ・【警戒レベル4相当】(-)の水位が氾濫危険水位（堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位としてあらかじめ定められた水位）に到達	避難準備・高齢者等避難開始の発令	非常体制	施設内全体への避難誘導	避難誘導班

＜参考＞ 警報・注意報の種類

警報・注意報の種類	発表基準	警戒レベル
大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予測したとき	警戒レベル2相当
洪水注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したとき	
大雨警報 (土砂災害、浸水害)	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき	警戒レベル3相当
洪水警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき	
大雨特別警報 (土砂災害、浸水害)	大雨による重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想したとき	警戒レベル5相当

4.2. 防災体制確立の判断時期及び活動内容（洪水）

河川名	(-)
所在市町村	(-)
水位情報	(-) 水位観測所

※防災体制確立の判断基準となる河川や観測所を1つのみ選択した場合、P3-3、P3-4は不要です。

<氾濫水到達時間が長い場合>

洪水危険度	体制確立の判断時期		体制	活動内容	対応要員
	洪水予報・水位到達情報	避難情報			
低 ↑	・【警戒レベル2相当】大雨・洪水注意報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫注意情報発表等 (-)(-)水位観測所の水位が氾濫注意水位（避難行動の準備を行う目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合		注意体制	台風や前線による大雨に伴う、洪水予報等の情報収集	通報班
	・【警戒レベル3相当】大雨・洪水警報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫警戒情報発表等 [洪水予報] (-)(-)水位観測所の水位が一定時間後に氾濫危険水位（堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位としてあらかじめ定められた水位）に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位（避難行動を行う目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合 [水位到達情報] (-)(-)水位観測所の水位が特別警戒水位（避難判断水位）に到達した場合	避難準備・高齢者等避難開始の発令	警戒体制	①洪水予報等の情報収集 ②使用する資器材の準備 ③利用者家族への事前連絡 ④周辺住民への事前協力依頼 ⑤要配慮者の避難誘導	①、③、④ 通報班 ②、⑤ 避難誘導班
	・【警戒レベル4相当】 ・(-)(- 地点) 氾濫危険情報発表 (-)の水位が氾濫危険水位（堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位としてあらかじめ定められた水位）に到達 ・【警戒レベル5相当】大雨特別警報発表	避難指示の発令	非常体制	避難誘導	避難誘導班
高 ↓					

＜氾濫水到達時間が短い場合＞

洪水危険度	体制確立の判断時期		体制	活動内容	対応要員
	洪水予報・水位到達情報	避難情報			
低 ↑ ↓ 高	大雨又は台風に関する気象情報発表等		注意体制	気象情報等の情報収集	通報班
	・【警戒レベル2相当】大雨・洪水注意報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫注意情報発表等 (-)(-)水位観測所の水位が氾濫注意水位（避難行動の準備を行う目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合		警戒体制	①洪水予報等の情報収集 ②使用する資器材の準備 ③利用者家族への事前連絡 ④周辺住民への事前協力依頼 ⑤要配慮者の避難誘導	①、③、④ 通報班 ②、⑤ 避難誘導班
	・【警戒レベル3相当】大雨・洪水警報発表 ・(-)(- 地点) 氾濫危険情報発表等 ・【警戒レベル4相当】(-)の水位が氾濫危険水位（堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位としてあらかじめ定められた水位）に到達	避難準備・高齢者等避難開始の発令	非常体制	施設内全体への避難誘導	避難誘導班

＜参考＞ 警報・注意報の種類

警報・注意報の種類	発表基準	警戒レベル
大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予測したとき	警戒レベル2相当
洪水注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したとき	
大雨警報 (土砂災害、浸水害)	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき	警戒レベル3相当
洪水警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき	
大雨特別警報 (土砂災害、浸水害)	大雨による重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想したとき	警戒レベル5相当

4.3. 防災体制確立の判断時期及び活動内容（土砂災害）

所在市町村	(美里町)
-------	---------

<土砂災害の場合>

洪水危険度	体制確立の判断時期		体制	活動内容	対応要員
	気象予報・水位到達情報	避難情報			
低 ↑	・【警戒レベル2相当】 大雨注意報発表		注意体制	①洪水予報等の情報収集 ②使用する資器材の準備 ③利用者家族への事前連絡 ④周辺住民への事前協力依頼 ⑤要配慮者の避難誘導	①、③、④ 通報班 ②、⑤ 避難誘導班
↓ 高	・【警戒レベル3相当】 大雨警報（土砂災害）発表	避難準備・高齢者等避難開始の発令	警戒体制	①避難誘導	①避難誘導班
	・【警戒レベル4相当】 土砂災害警戒情報発表 ・【警戒レベル5相当】 大雨特別警報発表	避難指示の発令	非常体制	避難完了	

<参考> 警報・注意報の種類

警報・注意報の種類	発表基準	警戒レベル
大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予測したとき	警戒レベル 2相当
洪水注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したとき	
大雨警報 (土砂災害、浸水害)	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき	警戒レベル 3相当
洪水警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき	
大雨特別警報 (土砂災害、浸水害)	大雨による重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想したとき	警戒レベル 5相当

5 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法	インターネット検索キーワード
洪水予報・河川水位	国土交通省ホームページ、川の防災情報、洪水警報の危険度分布、緊急速報メール、エリアメール、メール配信サービス、防災無線、ラジオ、コミュニティFM	"川の防災情報 宮城県 水位"、"宮城県 河川流域情報システム"、"気象庁 洪水警報の危険度分布" 等
		"川の防災情報 宮城県 水位"、"宮城県 河川流域情報システム"
気象情報（大雨注意報・警報等）	気象庁ホームページ、テレビ、ラジオ	"宮城県 警報"、"美里町 警報"、"NHK 警報 宮城"、"宮城県 土砂災害警戒情報" 等
		"宮城県 警報"、"美里町 警報"、"NHK 警報 宮城"、"宮城県 土砂災害"
避難勧告、避難準備・高齢者等避難開始等	テレビ、ラジオ、防災行政無線、市町ホームページ、	"宮城県 避難"、"美里町 避難"
		"宮城県 避難"、"美里町 避難"、"美里町 警戒レベル"

(2) 情報伝達

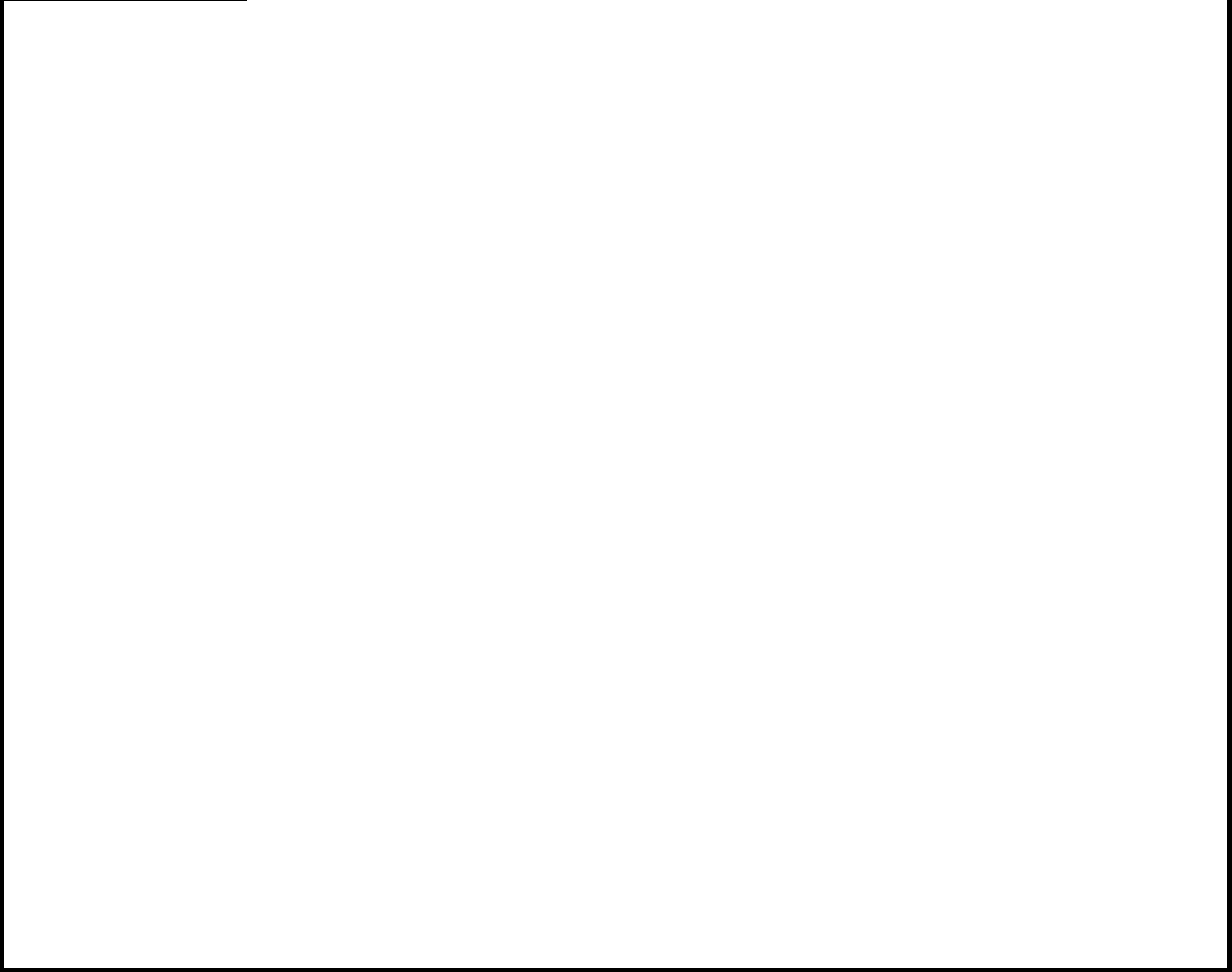
- 「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。
- 徒歩や公共交通機関等を用いての広域避難が困難な者がいる場合には、避難困難者の状態や人数について市町村長に報告する。

6 避難誘導

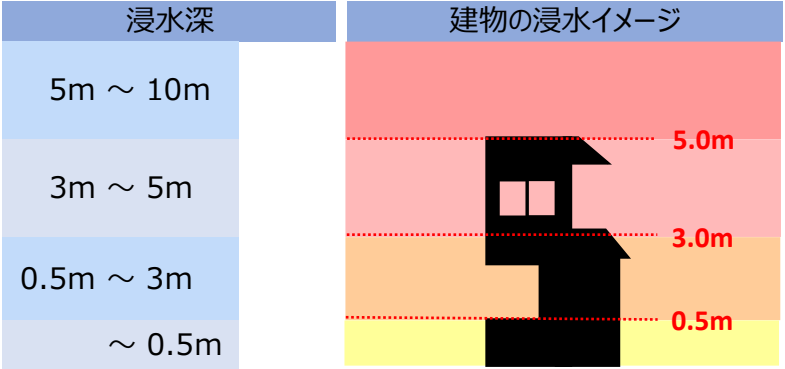
6.1 施設周辺の避難経路図

洪水時の避難場所は、洪水ハザードマップの想定浸水域および浸水深から、以下の場所とする。

避難経路図



建物の階数	() 階
建物に想定される 最大浸水深	() m



	避難場所の名称	移動手段	避難準備時間	避難時間
屋内安全確保 (垂直避難)	()		() 分	() 分
避難場所 への避難	()	☐ 徒歩 ☐ 車両	() 分	() 分
施設からの距離	() m	() 台		

6 避難誘導

6.2 施設周辺の避難経路図

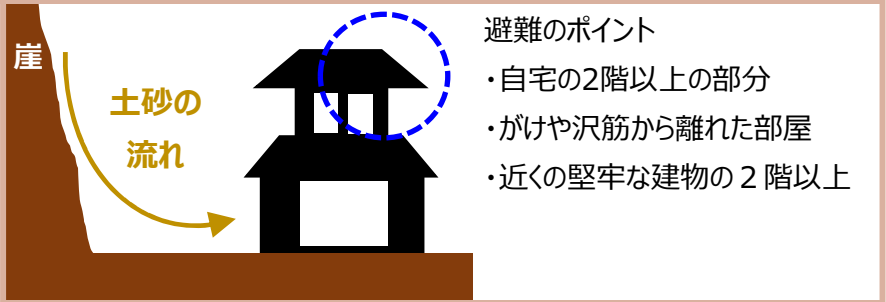
土砂災害時の避難場所は、土砂災害ハザードマップの特別警戒区域、警戒区域から、以下の場所とする。

避難経路図

雨風が強まり屋外へ出ることが危険な場合に
屋内避難する際の留意点

建物の階数

() 階



	名 称	移動手段	避難準備時間	避難時間
屋内安全確保 (垂直避難)	()		() 分	() 分
避難場所 への避難	()	☐ 徒歩	() 分	() 分
施設からの距離	() m	☐ 車両 () 台		

6.3 避難誘導方法

避難誘導については、次のとおり行う。

（１）避難場所

- ・ 避難場所へ避難（水平避難）する場合、避難場所は「避難経路図」に記載とおりとする。
- ・ 悪天候の中の避難や、夜間の避難は危険もともなうことから、施設における想定浸水深が浅く、建物が堅牢で家屋倒壊のおそれがない場合、屋内安全確保（垂直避難）を図るものとする。その場合は、備蓄物資を用意する。
- ・ 避難場所が使用できない場合にそなえ、避難場所に代わる第２の避難場所を検討しておく。
- ・ 自施設が避難場所となっている場合、自施設内で避難（屋内安全確保・垂直避難）する。

（２）避難経路

「避難場所までの避難経路については、「避難経路図」を基本とする。

実際の避難時には、避難経路の状況を臨機に判断し、安全を確保した避難を実施する。

（３）協力体制

家族の協力、福祉関係機関との協力体制のもと、避難体制を構築する。

（４）避難の心得

災害から命を守るためには、国や都道府県が行う対策などの「公助」だけでなく、私たち一人一人の「自助」、すなわち、災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための防災行動を起こすことが重要である。

（５）避難に対する事前の備え

- ・ 避難場所への移動に伴う入所者への心身等のストレスを軽減するために、日常の生活環境（散歩道など）に避難場所を組み込むことに努める。
- ・ 車での避難は、浸水箇所で動けなくなる危険や川沿いの道路から川に転落する危険等を伴うため、安全で確実な移動手段であるかを慎重に判断し、車両使用を検討する場合は、市町に対し車両避難のルールの有無を確認する。
- ・ 夜間の屋外への避難に備え、目の不自由な利用者に対しても、安全かつ迅速に誘導できるよう、避難誘導員は避難者が一見して誘導員と識別できるよう明るい色の衣服を着用したり、側溝やがれき等の危険箇所に近づかないよう蛍光塗料を使ってルート誘導を行ったり、安全に配慮した工夫ができるよう備える。
- ・ 避難途中や避難後における利用者の体調の悪化や、避難にあたって特別な配慮が必要な利用者（感染症の患者等）に対する対応方法についてあらかじめ検討する。
- ・ 災害が発生するおそれがある場合、担当職員の増員や運営（中止など）について検討する。

(6) 避難必要時間

- ・ 屋内安全確保（垂直避難）する場合

避難準備にかかる時間は？

（避難誘導の割り当て、必要物資の移動準備）

避難訓練の実績値 （もしくは想定値）	（ 0 ）分
<目標時間>	（ ）分

避難にかかる時間は？（施設から避難先までの移動時間）

避難訓練の実績値 （もしくは想定値）	（ 0 ）分
<目標時間>	（ ）分

- ・ 避難場所へ避難（水平避難）する場合

避難準備にかかる時間は？

（避難誘導の割り当て、必要物資の搬送準備、搬送車までの入所者の移動など）

避難訓練の実績値 （もしくは想定値）	（ 0 ）分
<目標時間>	（ ）分

避難にかかる時間は？（施設から避難先までの移動時間）

避難訓練の実績値 （もしくは想定値）	（ 0 ）分
<目標時間>	（ ）分

(7) 自主避難の判断

洪水や土砂災害の危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための防災行動を起こすことが重要である。特に、次に示すような土砂災害の前兆現象を確認した際は、市町役場等の情報を待つことなく避難を開始する。前兆現象については、安全確保のため、施設内から確認できる範囲で把握し、市に報告する。

- ・ がけの表面に水が流れ出す。
- ・ がけから水が噴き出す。
- ・ 小石がパラパラと落ちる。
- ・ がけからの水が濁りだす。
- ・ がけの樹木が傾く。
- ・ 樹木の根の切れる音がする。
- ・ 樹木の倒れる音がする。
- ・ がけに割れ目が見える。
- ・ 斜面がふくらみだす。
- ・ 地鳴りがする。

7 避難の確保を図るための施設の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材等については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。

これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材一覧

	備蓄品
情報収集・伝達	☐ テレビ ☐ ラジオ ☐ タブレット ☐ ファックス ☐ 携帯電話 ☐ 懐中電灯 ☐ 電池 ☐ 携帯電話用バッテリー ☐ 笛
避難誘導	☐ 名簿（従業員、施設利用者） ☐ 案内旗 ☐ タブレット ☐ 携帯電話 ☐ 懐中電灯 ☐ 携帯用拡声器 ☐ 電池式照明器具 ☐ 携帯電話用バッテリー ☐ ライフジャケット ☐ 蛍光塗料
施設内の一時避難	☐ 水（1人あたりℓ） ☐ 食料（推奨：1人あたり3日分） ☐ 寝具 ☐ 防寒具
高齢者	☐ おむつ・おしりふき
障害者	☐ 常備薬
乳幼児	☐ おむつ・おしりふき ☐ おやつ ☐ おんぶひも
感染症対策	☐ マスク（タオル等） ☐ 体温計 ☐ アルコール消毒液（除菌シート） ☐ 石鹸 ☐ 上履き（スリッパ） ☐ ビニール袋 ☐ ティッシュペーパー
非常・防災用	☐ 着替え ☐ アルミマット等 ☐ 薬・お薬手帳 ☐ 非常用持出袋
その他	☐ ウェットティッシュ ☐ ゴミ袋 ☐ タオル ☐ （ ）

浸水を防ぐための対策

☐ 土のう ☐ 止水板 ☐ その他（ ）
--

8 防災教育及び訓練の実施

- ・避難確保計画と「避難だっちゃ新聞」（避難確保計画早見表）を作成し、保管場所を全従業員で共有する。
- ・避難確保計画と「避難だっちゃ新聞」（避難確保計画早見表）を、従業員・入居者状況に変化があった場合に、見直す。
- ・毎年 月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- ・土砂災害の危険がある場合は、土砂災害の前兆現象について学習する。

9 自衛水防組織の業務に関する事項

- ・別添1「自衛水防組織活動要領」に基づき自衛水防組織を設置する。
- ・自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。
 - ▶ 毎年 月に新たに自衛水防組織の構成員となった職員を対象として研修を実施する。
 - ▶ 毎年 月に行う全職員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

別添「自衛水防組織活動要領（案）」

出典：「要配慮者利用施設（医療施設等を除く）に係る避難確保計画作成の手引き（洪水・内水・高潮編）（平成29年6月、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室）」

（自衛水防組織の編成）

第1条管理権限者は、洪水時等において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

2 自衛水防組織には、統括管理者を置く。

（1）統括管理者は、管理権限者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

（2）統括管理者は、洪水時等における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

3 管理権限者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

4 自衛水防組織に、班を置く。

（1）班は、総括・情報班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

（2）各班の任務は、別表1に掲げる任務とする。

（3）防災センター（最低限、通信設備を有するものとする）を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター勤務員及び各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する。

（自衛水防組織の運用）

第4条管理権限者は、従業員の勤務体制（シフト）も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

2 特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあって、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権限者は、近隣在住の従業員等の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

3 管理権限者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員等の非常参集計画を定めるものとする。

（自衛水防組織の装備）

第5条管理権限者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

（1）自衛水防組織の装備品は、別表2「自衛水防組織装備品リスト」のとおりとする。

（2）自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

（自衛水防組織の活動）

第6条自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。

別表1「自衛水防組織装備品リスト」

任務	装備品
情報収集・伝達	名簿（従業員、利用者等） 情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 照明器具（懐中電灯、投光機等）
避難誘導	名簿（従業員、利用者等） 誘導の標識（案内旗等） 情報収集及び伝達機器（タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 懐中電灯 携帯用拡声器 誘導用ライフジャケット 蛍光塗料

洪水のおそれがあると思ったら、カメラを見てみよう！

自衛消防隊長 () (代行者)



検索

"宮城県 警報"、"美里町 警報"、
"NHK 警報 宮城"、"宮城県 土砂
災害警戒情報" 等

水位情報を検索

検索

"川の防災情報 宮城県 水位"、
宮城県 河川流域情報システム"、

避難情報を検索

検索

"宮城県 避難"、"美里町 避難"

通報班の任務

避難誘導班の任務

非常体制

- ・ 避難誘導の実施
- ・ 未避難者、要救助者の確認

警戒体制

- ・ 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、情報内容の記録
- ・ 館内放送等による避難
- ・ 洪水予報等の情報の収集
- ・ 関係者及び関係機関との連絡、事前協力の依頼

- ・ 避難に関する資機材の準備
- ・ 要配慮者の避難誘導

注意体制

- ・ 気象情報などの情報収集

要員

○

・

・

・

・

・

・

・

・

・

○

・

・

・

・

・

・

・

・

・

※ ○ : 班長